

## 大丈夫ですか？「言葉の使い方」

「言葉」は、強い影響力を持っています。特に公的な場合において、その影響力は非常に広範囲になります。それだけに言葉の持つ意味を十分に理解し、また使い方にも十分配慮して適切な表現を心がけたいですね。いずれかの性が優先される表現や固定的な観念にとらわれた表現を避け、男女いずれにも使用できる表現、対等な表現になるよう工夫しましょう。

### 両性の代表として男性を表す表現、男性を優先させる表現

例えば・・・		こんな表現もできます
営業マン		営業社員
OB		出身者、OB・OG
オンブズマン		オンブズパーソン、オンブッド
カメラマン		写真家、フォトグラファー
キーマン		キーパーソン
サラリーマン		会社員
父兄		保護者
フレッシュマン		新人
男顔負け		使用しない
男勝り		
女だてら		

### 女性であることを強調する表現

例えば・・・		こんな表現もできます
OL、キャリアウーマン		会社員
女教師		教師
帰国子女		帰国児童
女医		医師
女子アナ		アナウンサー
女性議員		議員
女性代議士		代議士
女流作家		作家
ママさんランナー		ランナー
老女・老婆		高齢者
職場の花		使用しない
美人○○ 例) 美人秘書など		使用しない
女性初、女性第一号		

### 古くからの観念（家父長制や家制度など）にとらわれた表現

例えば・・・		こんな表現もできます
奥さん、家内		妻、つれあい
主人、亭主		夫、つれあい
婿養子		養子
内助の功		妻の協力
「〇〇らしい」「〇〇のくせに」といった固定的な表現 例) 女性らしい気配り 男のくせにだらしない		使用しない

### 性別により役割を限定する表現

例えば・・・		こんな表現もできます
スチュワーデス		客室乗務員
良妻賢母		使用しない
看護師・看護婦		看護師（2001年改正・2002年3月より施行）
保健婦		保健師（2001年改正・2002年3月より施行）
保母・保父		保育士（1998年改正・1999年4月より施行）

### 男女で異なる呼称を使い分ける表現

例えば・・・		こんな表現もできます
男性は〇〇君、〇〇氏、女性は〇〇さん(ちゃん)、〇〇女史		男女とも「さん」「氏」とする
男性を姓、女性を名で表記する表現		男女で表記を統一する
夫婦を、夫は性、もしくは姓名で、妻を名のみで表記したり紹介する。		夫婦ともに姓名で表記、紹介する

### 統計上の公正を欠く表現

例えば・・・		こんな表現もできます
合理的な理由（*積極的改善措置など）なく、常に女性のみを内数で表記する表現 例) 合格者〇〇人(うち女性〇〇人)		合格者〇〇人 (男性〇〇人、女性〇〇人)
常に男性の数値を先に表記する		女性が多い場合など、数値の内容に応じて表記する

\*積極的改善措置とは・・・「ポジティブ・アクション」ともいわれ、社会活動における男女間格差を改善するために、必要な範囲内において、男女いずれか一方に対し、その機会を積極的に提供することをいいます。

これらはほんの一例にすぎません。みなさんも言葉の使い方について考えてみませんか。